

Kouichi Ano/Norifumi Ueda

Michiko Toyama/Masataka Toshima

Takako Machimura/Karen Haedrich



Journeys

**Communication
for the Global Age**



Asahi Press

見本のご請求はこちらをクリックしてお申込みください

審査用見本

Journeys:

Communication for the Global Age

Kouichi Ano

Norifumi Ueda

Michiko Toyama

Masataka Toshima

Takako Machimura

Karen Haedrich

Asahi Press

音声再生アプリ「リスニング・トレーナー」を使った 音声ダウンロード



朝日出版社開発のアプリ、「リスニング・トレーナー（リストレ）」を使えば、教科書の音声スマホ、タブレットに簡単にダウンロードできます。どうぞご活用ください。

● アプリ【リスニング・トレーナー】の使い方

《アプリのダウンロード》

App StoreまたはGoogle Playから
「リスニング・トレーナー」のアプリ
(無料) をダウンロード

App Storeは
こちら▶



Google Playは
こちら▶



《アプリの使い方》

- ① アプリを開き「コンテンツを追加」をタップ
- ② 画面上部に【15704】を入力しDoneをタップ

音声ストリーミング配信》》

この教科書の音声は、
右記ウェブサイトにて
無料で配信しています。



<https://text.asahipress.com/free/english/>



表紙デザイン：大下賢一郎
イラスト：駿高泰子
執筆協力：石井真美

Journeys: Communication for the Global Age
Copyright © 2023 by Asahi Press

All rights reserved. No part of this book may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying, recording or by any information storage and retrieval system, without permission in writing from the authors and the publisher.

みなさんの英語学習の目的はどのようなものでしょうか？「英語という言葉が好き」「将来の仕事に必要なから」「海外旅行を楽しみたい」「世界中にたくさんの友達を作りたい」など人それぞれだと思います。でも、どんな目的であっても共通していること、それは「英語という窓」がみなさんの未来の可能性を広げてくれるということです。将来の夢を持っている人は、その夢に向かう Journey（旅）を英語がガイドしてくれます。まだ夢を探している人には、英語がみなさんの Journey を少しずつ先へと伸ばしていきってくれることでしょう。このテキストは、大学生のみなさんがコミュニケーションのツールとして英語を使いこなし、夢を叶えるための支援をするために生まれました。Communication for the Global Age、グローバル社会で活躍するみなさんが、コミュニケーションのツールとしての英語力を伸ばしていくために、存分に活用してもらいたいと思っています。現代の社会はめまぐるしく変化をしています。時代で変わることに、変わらないことを踏まえて、本書の改訂を行いました。新しい題材を取り入れるとともに、みなさんの英語の発信力を高めるための Retelling など新設しました。

英語を知識として終わらせるのではなく、活用できるスキルとして学習するために、それぞれの Lesson は2つの学習目標（CAN-DO）を軸として展開します。1つは、大学生にとって身近で興味がある話題について考え、英語を通して視野を広げることを目指したものです。そしてもう1つは、Lesson の学習を通してみなさんが「英語でできるようになること」を具体的に表しています。学習を始める前に CAN-DO を確認しましょう。そして学習後には、どのくらいできるようになったかを CAN-DO Check で確認しながら、「英語でできること」を少しずつ増やしていきましょう。

それでは、アメリカに留学をして様々な異文化体験を重ねる日本人大学生の春樹、そして将来の夢に向かって前向きに大学生活を送るアメリカ人女子学生の Katie といっしょに、Journeys を楽しみましょう。

阿野 幸一

Contents

はじめに
本書の使い方

Lesson 1

Communication 2

Grammar for Communication:

【現在にかかわることを述べる表現：現在形・現在進行形】

Lesson 2

Friendship 10

Grammar for Communication:

【過去のことを述べる表現：過去形・過去進行形】

Lesson 3

Health and Environment 18

Grammar for Communication:

【すでに終えていることや、経験を伝える表現：現在完了形】

Lesson 4

Gender Equality 26

Grammar for Communication: 【未来のことを伝える表現：未来表現】

Lesson 5

Fashion 34

Grammar for Communication:

【可能性や推量を述べる表現：助動詞① can, may】

Lesson 6

Food 42

Grammar for Communication:

【相手に助言をしたり、しなければならないことを伝えたりする表現：助動詞②：should, must】

Lesson 7

The History of YouTube 50

Grammar for Communication: 【比較をする表現①】

Lesson 8

Study Abroad 58

Grammar for Communication: 【比較をする表現②】

Lesson 9

College Life in the U.S. 66

Grammar for Communication:

【視点を変えて説明したり、～させると伝えたりする表現：受け身、使役】

Lesson 10

Olafur Eliasson 74

Grammar for Communication: 【情報を加えて説明する表現：関係詞①】

Lesson 11

Volunteer Work 84

Grammar for Communication:

【時・場所・理由などの情報を加える表現：関係詞②】

Lesson 12

Career 92

Grammar for Communication:

【言葉に情報を加える表現：形容詞用法】

Lesson 13

Travel 100

Grammar for Communication: 【自分の願いを伝える表現：仮定法】

Lesson 14

Culture 108

Grammar for Communication: 【人の言葉を伝える表現：話法】

Lesson 15

An International World 116

Grammar for Communication:

【論理的に伝える表現：ディスコース標識】

本書の使い方

CAN-DO

これから学習するレッスンのゴール（英語の学習を通してできるようになること）を、学習の開始前に確認し、目指すべきゴールを明確にします。それぞれのレッスンに2つのCAN-DOを示しています。題材を通して考えて理解する目標と、レッスンで学習する言語材料を通して表現できるようになる目標の2つです。

Lesson

1

Communication

CAN-DO

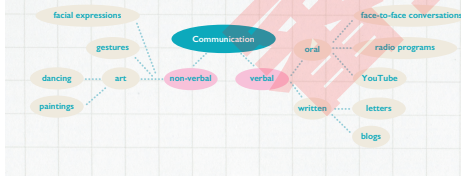
- ✓ コミュニケーションが持つ力について理解することができる。
- ✓ 相手のことを考えて自分のことを紹介することができる。



Warm-up Questions – Talk in pairs!

1. Can you name three forms of communication?
2. Which do you like better, face-to-face communication or social network communication?

Keywords



Conversation

レッスンのテーマに沿った話題について、Katieと春樹の2人が会話を行っています。大学生同士の生き生きとした会話から、自然な会話の流れを学習します。詳しい情報をつかむ前に、2人の会話の流れをつかみ、その後に、内容についての先生からの質問に答えたり、リズムやイントネーションなどに注意をしたりしながら音読練習や役割練習を行いましょう。

Conversation

Haruki is a student from Japan studying at a college in Boston, Massachusetts, U.S.A. He is talking to his friend Katie as they take a walk on the college campus.

- Katie:** Haruki, what made you interested in studying English?
Haruki: Well, since I was little, I have always loved baseball.
Katie: Baseball?
Haruki: Yes. My favorite player played for a team in the United States.
Katie: I see.
Haruki: I saw the faces of fans like me in the crowd. I knew that if we could talk to each other, we would have so many interesting stories to tell!
Katie: I get it. You wanted to make friends who shared your love of baseball!
Haruki: That's right.

Useful Expressions

I see.
 I get it.
 That's right.

Pronunciation

ポーズを見つける＝情報・意味のまとまりごとに聞く
 ポーズとは「音の切れ目」です。会話を聞きながら、ポーズを探しましょう。例えば会話の1行目では、Haruki, / what made you interested in studying English? のように、Harukiと呼びかけ、質問に入る前にポーズを入れています。人が話す時は、まとまった情報（あるいは意味）の切れ目にポーズを入れるため、英語を聞く時にポーズを意識して聞くトレーニングは、情報のまとまりごとに聞いて理解し、次の情報に備える力を伸ばしてくれます。

Let's Try!

1. 会話を聞いてポーズの箇所には／を入れましょう。
2. ポーズで区切られた意味のまとまりを意識して話す練習をしましょう。
3. 電話番号を聞いて、a と b のどちらかに丸をつけてみましょう。
 a. 046-732-2885 or b. 0467-322-885
 ペアになって正しく伝えられるか確認してみましょう。

写真 (2つ) 写真を通して、題材へのイメージを膨らませます。この写真を用いて、みなさんが思い浮かべることができることを伝えたり、クラスメートとやり取りをしたりします。

Warm-up Questions – Talk in pairs!

2つの質問についてみなさんが自分の答えを考えて用意し、ペアになって話し合うことで、授業で英語を使う準備をするとともに、題材について考えるきっかけとします。ペアを変えながらやり取りを繰り返すことで、次第に英語で話すことに慣れていきます。

Keywords

題材理解を深めるためのキーワードです。“Warm-up Questions – Talk in pairs!”の際に活用することができます。また、ペアワークを終えたあとで、英語による表現力を高めるための語彙の補強として利用することもできます。

Useful Expressions

Conversationの中から、日常会話でよく使われる表現を3つ取り上げています。みなさんに日常会話で使えるようになってもらいたい表現なので、どのような場面で使われているかを考え、自分でも使えるように練習して実際に使ってみましょう。

Reading

レッスンの題材を扱った英文です。まずは話の概要を把握することから始め、次第に深い内容理解へと進んでいきます。

概要の把握では、英文全体を読み取った後に、どのような話題が書かれているかをペアやグループで話し

合ったりして理解を深めていきましょう。次に、**Comprehension**に答えていくことで、英文のポイントをとらえながら全体の流れをつかむための読解のスキルを養います。最後に**Answer the Questions**に答えていくことで、英文や題材に関する理解を深めます。

Reading



1-04 My name is Janet Smith. I was born in a small town in *Maine, on the east coast of the United States. Today, I am going to talk about the way that "communication" has affected me in my experience with Japanese language and culture. From the first time that I heard spoken Japanese, I aspired to be able to understand the messages that were being communicated and to be able to tell my story as well.

1-05 I became interested in Japanese culture in high school. Japanese media was becoming popular in the United States at that time. I saw Japanese anime on TV and Japanese manga in bookstores. However, it was almost always translated into English. I remember when I rented an anime series on DVD and listened to the Japanese language soundtrack for the first time. I had no idea what was being said, but I loved the sounds of the words. Written Japanese words looked complicated and beautiful. I longed to know what the words meant, but I didn't know anyone who spoke Japanese in my small town in Maine.

1-06 Little by little, I started listening to Japanese music. I knew that each lyric had a message for me. I also watched *clips from Japanese TV shows on the Internet. Each interview and conversation had a story to tell. If I could understand the words, I would come to know more about the world that those words came from.

1-07 I began to study Japanese language at college in Boston a few years later. I finally had a chance to come to Tokyo for the first time in my *sophomore year of college. I stepped off the plane at Narita Airport. For the first time, outside of my classroom or a recording on a CD, I heard people all around me speaking in native Japanese.

1-08 Stepping into a new culture was exciting and enchanting, but also unfamiliar and overwhelming. Clutching a map, I built up my courage to ask a woman for directions on the street. When I asked my question in Japanese, the woman listened thoughtfully, gave me an answer, and pointed in the direction that I should go.

1-09 It was a simple exchange, but I was thrilled when I was understood. It was as if I had found a secret code. "Communication" was the tool that had unlocked a new world for me. This world was full of people with stories to tell. Now, with the power of communication, I had a way to listen to their stories and learn more about this new world.

Vocabulary

Maine: アメリカの合衆国の最東部に位置する州 clip(s): 動画の1カット
years of college: freshman (大学1年生), sophomore (大学2年生), junior (大学3年生), senior (大学4年生)

Comprehension

Read the passage, and fill in the table below.

Janetのスピーチの要点を、以下の表に英語で書いてみましょう。

スピーチのテーマ	The way that "communication" has affected Janet in her experience with Japanese language and culture.
日本文化に興味を持ったきっかけ	Janet saw Japanese anime on TV and Japanese manga in bookstores.
DVDやCDで初めて日本語を聞いた時の感想	
日本語を聞き続けての感想	
大学時代にした経験	
初めて日本語で会話した時の感想	
ジャネットにとってのコミュニケーションの定義とは	

Pronunciation

音声上の学習のポイントについて、それぞれのレッスンで1つのポイントに絞って学習します。**Conversation**で扱った英文から例を示しているので、音声を活用しながら練習することができます。

レッスンによっては、**Let's Try!**という練習問題が用意されているので、表現力を高めるためのトレーニングをすることができます。このコーナーでは、声に出して練習し、体で覚えていくことが大切です。

Discussion Topic

Reading の題材について、皆さんの考えを述べるための質問です。一つの正解はありません。みなさんが考えたことを、自由に英語で表現してみましょう。ペアやグループになって、ディスカッションをして、お互いの意見を聞き、自分の考えも述べたり、相手に質問をしたりしてみましょう。

Answer the Questions

Work with a partner to answer the questions. Use complete sentences.

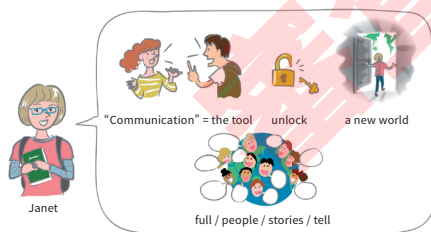
1. When Janet listened to Japanese for the first time, how did she feel?
2. What did the Japanese shows on the Internet make Janet think?
3. What is the definition of the word "communication" for Janet?

Discussion Topic

What does the word "communication" mean to you?

Retelling

イラストとキーワードを使って、筆者 (Janet) はコミュニケーションとはどのようなものだ述べているか、書き出しの英語 (According to Janet.) に続くように英語で説明しなさい。また、本文の内容を参考に、あなた自身が考えるコミュニケーションについて英語で説明してみましょう。



6

Retelling

Reading で読んだ本文の中から、ポイントとなる部分に焦点を当てて、英文の内容を自分の英語で再生していく表現活動です。イラストやキーワードを参考にして内容を伝えることで、英語による発信力を向上させます。

Grammar for Communication



1-10 【現在にかかわることを述べる表現：現在形・現在進行形】

◆ 現在形：現在の動作や状態、習慣的な事実などを表す。

例文：

I am a first-year economics student. (私は経済学を学んでいる1年生です。)
I take a walk every day. (私は毎日散歩します。)

◆ 現在進行形：話をしている時点で進行している動作を述べる。

The girl is drawing a dog in her sketchbook now.
(その少女は今スケッチブックに犬を描いています。)

*状態を表す動詞は、進行形にならないものがあることに注意しましょう。

Let's Try!

場面に合わせてカッコ内の動詞を適切な形に変え、空所を埋めて英文を完成させましょう。

1. A: Where is Jim?
B: He _____ out at the moment. (be)
2. A: Hello. May I speak to Marina?
B: May I ask who _____? (call)
3. Kim _____ her mother very much. (resemble)
4. Hi, I'm Kento. I _____ climate change at the institute now. (study)
5. My father _____ a bike for commuting. (ride)

Lesson
1

Communication



★動画で分かる！
文法解説

7

Grammar for Communication

高校までに知識として学習してきた英文法を、コミュニケーションに使える文法力に転化させるための学習コーナーです。言葉の使用場面と働きを意識したテーマを設定し、複数の文法事項を関連させ、比較しながら、文法知識の整理を行います。

Let's Try!

の練習問題を通して知識の確認を図りますが、みなさん自身のことに置き換えて表現することで、文法をより身近に感じる練習にすることができます。

★代表著者による文法解説動画

各 Lesson の文法事項を動画で詳しく解説しています。文法の使い方について、解説動画を通して学習し、コミュニケーションで活用できる文法力を身につけましょう。

●動画ストリーミングサイト
トップページへ



Express Yourself

このコーナーでは、どのように英語で表現をするのが効果的かについて学習し、みなさんの英語による発信力を高めます。単に知識としての学習で終わらせないために、Speaking Task で実際に英語で話す練習

をします。また、Writing Task では、英文をつなげてパラグラフを構成していく練習も行います。英語の発信力を高めるために、実際に話したり書いたりすることがとても大切です。

Express Yourself

<自己紹介をする>

Tips:

自己紹介をする際の注意点としては、聞き手（読み手）の視点に立って、自己紹介を考えることです。自分が当然だと思っていることも、聞き手（読み手）が知らなかったり、あるいは情報が不足してよくわからなかったりすることがあります。自己紹介文を書く際は、まず初めに、自己紹介の下書きを書き、次に、聞き手（読み手）が知らないかもしれない、あるいは知りたいかもしれない情報を下書きに書き足していき、自己紹介文を完成させましょう。

(例)

I am from Kyoto.

↓ ♣ (聞き手がより知りたいと思われる情報①): Which part of Kyoto?

I grew up in Uji City.

↓ ♣ (聞き手がより知りたいと思われる情報②): I don't know Uji very well.

In Uji City, you can visit Byodoin Temple, which is a World Heritage site.

Let's Try!

Writing Task:

英語で自己紹介文を書いてみましょう。

Speaking Task:

1. グループを作り、書いた自己紹介を基にほかのグループメンバーに英語で自己紹介をしましょう。また、メンバーの名前と特徴をメモしながら聞いてみましょう。

2. 他のグループメンバーの自己紹介を聞いた後で、興味があること、もっと詳しく知りたい情報があれば英語で質問をしましょう。

(Extra Work)

自分のグループのメンバーを他のグループに英語で紹介してみましょう。

CAN-DO Check

- ☐ コミュニケーションが持つ力について理解することができましたか? ⑤ ④ ③ ② ①
- ☐ 相手のことを考えて自分のことを紹介することができましたか? ⑤ ④ ③ ② ①

⑤よくできた ④できた ③どちらとも言えない ②あまりできなかった ①できなかった

CAN-DO Check

単元での学習の振り返りを行うコーナーです。みなさん自身が、学習前と学習後でどのくらい変化したかを振り返ります。ポイントは「できるかできないか」ではなく「どのくらいできるようになったか」ということ

です。「よくできるようになった」と思ったら⑤にマークを、「まだできない」と思ったら①にマークというように5段階で確認します。ここではクラスメートとの比較ではなく、自分自身の変化を確認することが大切です。

審査用見本

Journeys:

Communication
for the Global Age

備査用見本

Asahi Press

Communication

CAN-DO

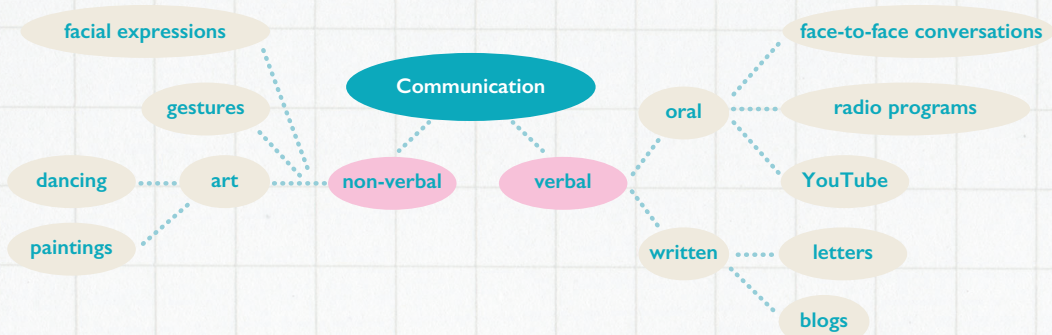
- ✓ コミュニケーションが持つ力について理解することができる。
- ✓ 相手のことを考えて自分のことを紹介することができる。



Warm-up Questions – Talk in pairs!

1. Can you name three forms of communication?
2. Which do you like better, face-to-face communication or social network communication?

Keywords



Conversation

Haruki is a student from Japan studying at a college in Boston, Massachusetts, U.S.A. He is talking to his friend Katie as they take a walk on the college campus.

Lesson

1

Communication



1-02

Katie: Haruki, what made you interested in studying English?

Haruki: Well, since I was little, I have always loved baseball.

Katie: Baseball?

Haruki: Yes. My favorite player played for a team in the United States.

Katie: I see.

Haruki: I saw the faces of fans like me in the crowd. I knew that if we could talk to each other, we would have so many interesting stories to tell!

Katie: I get it. You wanted to make friends who shared your love of baseball!

Haruki: That's right.

Useful Expressions

I see.

I get it.

That's right.

Pronunciation



ポーズを見つける＝情報・意味のまとまりごとに聞く

ポーズとは「音の切れ目」です。会話を聞きながら、ポーズを探しましょう。例えば会話の1行目では、Haruki, / what made you interested in studying English? のように、Haruki と呼びかけ、質問に入る前にポーズを入れています。人が話す時は、まとまった情報（あるいは意味）の切れ目にポーズを入れるため、英語を聞く時にポーズを意識して聞くトレーニングは、情報のまとまりごとに聞いて理解し、次の情報に備える力を伸ばしてくれます。

Let's Try!



1-02

1. 会話を聞いてポーズの箇所に／を入れましょう。

2. ポーズで区切られた意味のまとまりを意識して話す練習をしましょう。



1-03

3. 電話番号を聞いて、a と b のどちらかに丸をつけてみましょう。

a. 046-732-2885 or b. 0467-322-885

ペアになって正しく伝えられるか確認してみましょう。

Reading



1-04

My name is Janet Smith. I was born in a small town in *Maine, on the east coast of the United States. Today, I am going to talk about the way that “communication” has affected me in my experience with Japanese language and culture. From the first time that I heard spoken Japanese, I aspired to be able to understand the messages that were being communicated and to be able to tell my story as well.

5



1-05

I became interested in Japanese culture in high school. Japanese media was becoming popular in the United States at that time. I saw Japanese anime on TV and Japanese manga in bookstores. However, it was almost always translated into English. I remember when I rented an anime series on DVD and listened to the Japanese language soundtrack for the first time. I had no idea what was being said, but I loved the sounds of the words. Written Japanese words looked complicated and beautiful. I longed to know what the words meant, but I didn’t know anyone who spoke Japanese in my small town in Maine.

10

15



1-06

Little by little, I started listening to Japanese music. I knew that each lyric had a message for me. I also watched *clips from Japanese TV shows on the Internet. Each interview and conversation had a story to tell. If I could understand the words, I would come to know more about the world that those words came from.

20



1-07

I began to study Japanese language at college in Boston a few years later. I finally had a chance to come to Tokyo for the first time in my *sophomore year of college. I stepped off the plane at Narita Airport. For the first time, outside of my classroom or a recording on a CD, I heard people all around me speaking in native Japanese.

25



1-08

Stepping into a new culture was exciting and enchanting, but also unfamiliar and overwhelming. Clutching a map, I built up my courage to ask a woman for directions on the street. When I asked my question in Japanese, the woman listened thoughtfully, gave me an answer, and pointed in the direction that I should go.

30



1-09

It was a simple exchange, but I was thrilled when I was understood. It was as if I had found a secret code. “Communication” was the tool that had unlocked a new world for me. This world was full of people with stories to tell. Now, with the power of communication, I had a way to listen to their stories and learn more about this new world.

35

Vocabulary

Maine : アメリカ合衆国の最東北部に位置する州 **clip(s)** : 動画の1カット

years of college : **freshman** (大学1年生)、**sophomore** (大学2年生)、**junior** (大学3年生)、**senior** (大学4年生)

Comprehension

Read the passage, and fill in the table below.

Janet のスピーチの要点を、以下の表に英語で書いてみましょう。

スピーチのテーマ	The way that “communication” has affected Janet in her experience with Japanese language and culture.
日本文化に興味を持ったきっかけ	Janet saw Japanese anime on TV and Japanese manga in bookstores.
DVD や CD で初めて日本語を聞いた時の感想	
日本語を聞き続けるの感想	
大学時代にした経験	
初めて日本語で会話した時の感想	
ジャネットにとってのコミュニケーションの定義とは	

Answer the Questions

Work with a partner to answer the questions. Use complete sentences.

1. When Janet listened to Japanese for the first time, how did she feel?

.....

2. What did the Japanese shows on the Internet make Janet think?

.....

3. What is the definition of the word “communication” for Janet?

.....

Discussion Topic

What does the word
“communication” mean
to you?

Retelling

イラストとキーワードを使って、筆者（Janet）はコミュニケーションとはどのようなものと述べているか、書き出しの英語（According to Janet,）に続くように英語で説明しなさい。また、本文の内容を参考に、あなた自身が考えるコミュニケーションについて英語で説明してみましょう。



Janet



“Communication” = the tool



unlock



a new world



full / people / stories / tell

Grammar for Communication



1-10

【現在にかかわることを述べる表現：現在形・現在進行形】

- ◆ 現在形：現在の動作や状態、習慣的な事実などを表す。

例文：

I am a first-year economics student. (私は経済学を学んでいる1年生です。)

I take a walk every day. (私は毎日散歩します。)

- ◆ 現在進行形：話をしている時点で進行している動作を述べる。

The girl is drawing a dog in her sketchbook now.

(その少女は今スケッチブックに犬を書いています。)

★動画で分かる！
文法解説



＊状態を表す動詞は、進行形にならないものがあることに注意しましょう。

Let's Try!

場面に合うようにカッコ内の動詞を適切な形に変え、空所を埋めて英文を完成させましょう。

1. A: Where is Jim?

B: He _____ out at the moment. (be)

2. A: Hello. May I speak to Marina?

B: May I ask who _____? (call)

3. Kim _____ her mother very much. (resemble)

4. Hi, I'm Kento. I _____ climate change at the institute now. (study)

5. My father _____ a bike for commuting. (ride)

Lesson

1

Communication

Express Yourself

<自己紹介をする>

Tips:

自己紹介をする際の注意点としては、聞き手（読み手）の視点に立って、自己紹介を考えることです。自分が当然だと思っていることでも、聞き手（読み手）が知らなかったり、あるいは情報が不足していてよくわからなかったりすることがあります。自己紹介文を書く際は、まず初めに、自己紹介の下書きを書き、次に、聞き手（読み手）が知らないかもしれない、あるいは知りたいかもしれない情報を下書きに書き足していき、自己紹介文を完成させましょう。

(例)

I am from Kyoto.

↓ ◀ (聞き手がより知りたいと思われる情報①) : Which part of Kyoto?

I grew up in Uji City.

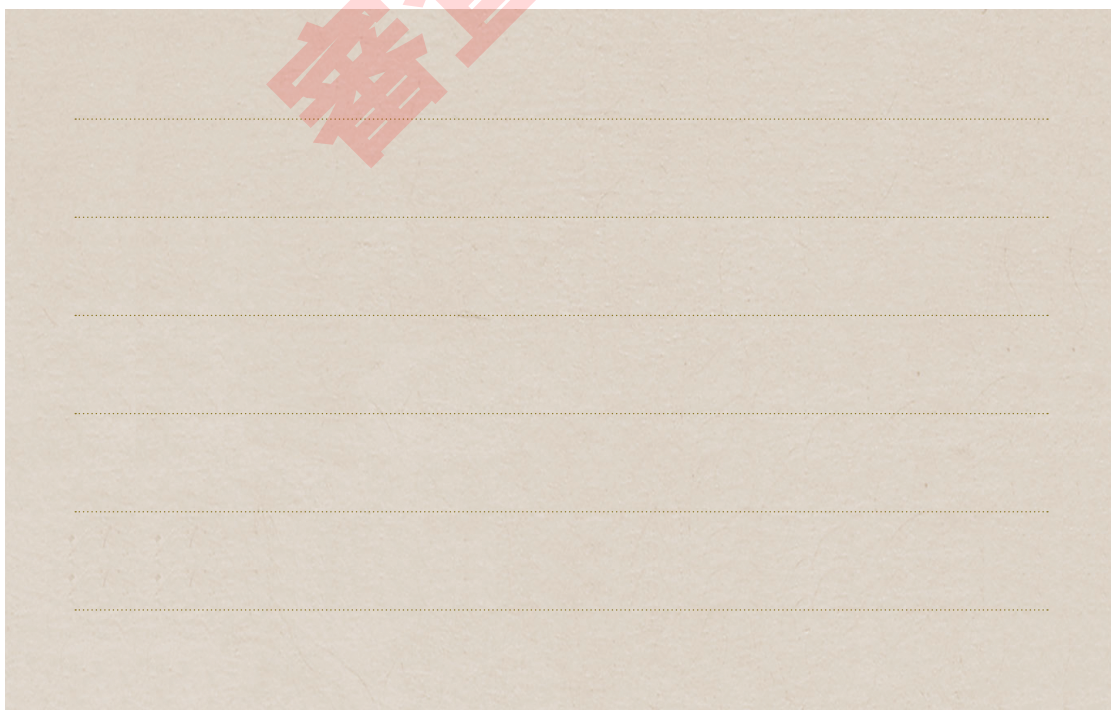
↓ ◀ (聞き手がより知りたいと思われる情報②) : I don't know Uji very well.

In Uji City, you can visit Byodoin Temple, which is a World Heritage site.

Let's Try!

Writing Task:

英語で自己紹介文を書いてみましょう。



Speaking Task:

1. グループを作り、書いた自己紹介を基にほかのグループメンバーに英語で自己紹介をしましょう。
また、メンバーの名前と特徴をメモしながら聞いてみましょう。
2. 他のグループメンバーの自己紹介を聞いた後で、興味があること、もっと詳しく知りたい情報があれば英語で質問をしましょう。

Lesson

1

Communication

(Extra Work)

自分のグループのメンバーを他のグループに英語で紹介してみましょう。

CAN-DO Check

- ☒ コミュニケーションが持つ力について理解することができましたか？ ⑤ ④ ③ ② ①
- ☒ 相手のことを考えて自分のことを紹介することができましたか？ ⑤ ④ ③ ② ①

⑤よくできた ④できた ③どちらとも言えない ②あまりできなかった ①できなかった